

1人でも当院の方針に共感してくれる人がいれば、その人が別のメディアにも紹介してくれたりします。また、スタッフも、募集してみなければわかりませんし、良いスタッフに恵まれていないと良い治療を提供できません。

立地も当初は、遠方からのアクセスも勘案して、品川や東京駅周辺などを検討していましたが、たまたま良い物件が空いたというところで、ここで開業しました。銀座はエリアの知名度も高いうえ、服飾や百貨店など集まっているため、富裕層や美容に関心のある人が多くやってくる。当初の想定とは違う場所での開業でしたが、今は銀座でよかったです。思っています。

表 なおえビューティークリニックの主な診療項目と価格

女性器診療	
・小陰唇縮小手術 【両側】28万円 【片側】16万円	など
膣縮小治療	
・膣縮小手術	60万円 など
膣萎縮治療	
・フェムタッチ 全周 (性交痛、膣のゆるみ) 【初回】10万円	など
美容治療	
・ヒアルロン酸注射	8000円～ (部位によって変動)
・ボトックス注射	2万円～ (部位によって変動) など

人が多くやってくる。当初の想定とは違う場所での開業でしたが、今は銀座でよかったです。思っています。

ステージ4から予防まで がん治療の新領域を拓く

医療法人社団ケイイー
ふるたクリニック(川崎市麻生区)

ふるたクリニックでは、月1500人もの患者の半数以上が自費診療、その3割ががん患者だ。さらにはがんのリスクが高い人に対する予防のメニューも展開している。

「あきらめないがん治療」をコンセプトに、幅広い自由診療を取り揃えておられます。どんな治療を提供されていますか。

当院のがん患者さんの多くは、

ステージ4、手術ができない、転移しているなど、大病院などでも「もう治療できない」と言われた人たちです。乳がん、前立腺がん、すい臓がん、肝臓がんなどが多い

ですが、基本的にすべての領域のがんに対応しています。患者さんの数は月1500人で、その半分以上が自由診療、さらに自由診療のうち3割ががん患者さんです。

自由診療は保険診療とは立ち位置が異なり、顧客がその治療を受けたいと選んでやってきます。そのため、顧客のニーズに合わせるこ

とが最大のコンセプトです。がん治療は、友人や家族の紹介など、口コミが圧倒的に多いです。また、私が登壇した講演会などをきっかけに来られた方もいますし、当院のホームページを見てというケースもあります。

——がんの「予防」にも力を入れています。どんなメニューですか？
PET検査などは、当たり前のことですが、すでに発がんしてないと発見することはできません。早期発見も重要ですが、理想は発がんさせないことです。たとえば、がん遺伝子を持つ人



古田一徳院長

の体内に活性酸素が溜まると、発がんする可能性が高くなります。この段階で、オゾン療法や高濃度ビタミンC点滴療法、あとは食事や生活習慣の改善なども含めて活性酸素を減らし免疫機能を高めると、発がんのリスクを下げられることがわかってきました。本来発がんに向かってしまう人、リスクが高い人をがん向かわせないようにするのが、がんの予防です。また、体内に活性酸素が溜まりすぎると、がんだけではなく、脳梗塞や認知症のリスクも高くなります。

——国民の予防に対する意識は総じて低いと思われれます。がん予防のニーズはどうですか？

予防医療の重要性がまだまだ啓発されていないため、多くの人は病気が見つかったから治療すればいいと思っていますし、健康な状態で医療にお金をかけるという意識はありません。ただ、結果的にがんを予防しておくほうが安くなります。がん遺伝子検査が保険適用になればいいのですが、可能な限り安く受けられるようにしています。早期発見しても外科治療には限界があり、時代は予防医療へ

とシフトしています。発がん前に検査を行って自分の身体の状態を知ってもらい、対策を打つことが重要です。現在は、月5例程度行っています。

— 価格設定については、相場や基準はどう決定されていますか？

都内の医療機関や美容専門診療所とは異なり、安すぎてもよくありません。ある程度高くてもそこに価値を感じてもらえるサービスマでなければならぬと考えています。たとえば、当院ではオゾン療法による血液クレンジングを1回2万円で購入していますが、美容専門では、1万円で購入しているところもあります。価格競争に巻き込まれると、「安いから来る」と

表 ふるたクリニックの主な診療項目と価格

点滴療法	検査
<ul style="list-style-type: none"> オゾン療法 (血液クレンジング) [初回] 1万円 [2回目以降] 2万円 [回数券(5回)] 9万円 高濃度ビタミンC点滴 [G6PD検査] 5000円 [25g] 1万2000円 [25g/5回券] 5万円 など 	<ul style="list-style-type: none"> がん遺伝子検査 15万円 認知症リスク検査 (MCIスクリーニング検査) 2万円 遅延型アレルギー検査 (IgG抗体検査) 3万2000円 など

いう患者さんが出てきます。そうした方はより安いところへ転々と流れます。当院に価値を求めてくる人を集めることが重要です。

自分はずいぶんこの治療を提供するのだからというコンセプトを明確にして自院の立ち位置をはっきりさせることが自由診療を展開するうえで大切であり、そのうえで顧客ニーズをつかんできちんとデータとして示していく。そうすると、患者さんも納得して選ぶことができます。

ただ自費診療で難しいのは、説明にかなり時間を要すること。費用が高いから結局受けられないという人もいますので、安定性で言えば、保険診療で多くの患者さんを診るほうが確実でしょう。

— 今後どのような領域が伸びていくとお考えですか？

たとえば、美容以外でのオゾン療法による血液クレンジングは、200人の医師が年間5万件実施していることが学会の調査でわかっています。さらに欧州ではその100倍、医師も1万人います。私もオゾン療法はいいものだと注目しているため、今後も積極的に啓蒙していきたいと考えています。あとは、腸内環境にも注目し

ています。

保険診療は破たんし、病気になるっても公的保険で治療できないという時代がいずれ来るでしょう

う。だからこそ、死ぬまで働き続けたほうがいいし、そのためのサポートをするのが、当院の役割だと思っています。

医療法人社団宗友会 パークサイド広尾レディスクリニック(東京都港区)

遺伝子検査は医療者による 行動変容につながる仕組みへ

パークサイドレディスクリニックは、婦人科、産婦人科、内科、心療内科、整形外科以外に心理カウンセリング、遺伝子検査、ダイエットプログラムなど自由診療も行っている。

— 婦人科の自由診療のほか、各種遺伝子検査や、ダイエット外来も行われています。現状について教えてください。

低用量ピルなどの婦人科の自由診療のニーズは変わらない一方、ダイエット外来と遺伝子検査は、内容の見直しも含め、今後の展開を検討しているところです。

当院のダイエット外来は、肥満遺伝子の測定に加え、一人ひとりの生活習慣を加味した管理栄養士による食事指導や生活習慣の改善を中心としていました。ただ、ダイエットでは食事に加えて、運動も重要なので運動指導もできる体制に変えていく必要があります。

遺伝子検査に関しては、認知度が低いにも関わらず、「医療広告ガイドライン」で、広告対象として認められない旨が記載されました。積極的な情報発信がしにくくなつてしまったなか、どうしているかと考えているところです。

— 遺伝子検査全般の可能性については、どう考えていますか？

遺伝子検査の質は、より迅速かつ高い精度の結果を出せるように日々進歩しています。また、オンライン上で結果だけ通知する安価なサービスも多かったので、最近では、医療者が結果を説明したうえで、予防行動に結びつけようという動きが活発になっていま